

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	飛騨市家庭教育支援チーム (呼称:ハルジオン～不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会) URL: https://jnflq.hp.peraichi.com/haruzion
②活動拠点	〒509-4252 飛騨市古川町朝開町 1508 番地 川上様宅
③活動範囲	主に飛騨市を中心とした飛騨地域
④組織体制	6 人 (当事者 3 名、元教員 3 名)
⑤活動開始年度	令和3(2021)年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) ハルジオン 代表 中村 早苗 (TEL)080-1615-8518 (E-mail)haruzion.0401@outlook.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(行政や他団体・専門機関と連携した支援 等)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談、情報交換の場の提供(ハルジオンカフェの開催) 毎週水曜日(19時～21時)、子どもや保護者等の相談や情報交換の場の提供をしている。水曜日以外では、相談者の都合や状況により随時対応している。また、ショートメールや LINE を活用することで、時間を問わず、個別の対応も行っている。 ・子どもや保護者の交流イベント開催(日中) 年数回程度、同じ悩みを持つ者同士が関わることができ、安心のできる居場所、人間関係をつくれるようなイベントの開催を予定している。これにより、地域の中でピアサポートを通して孤立を防ぎ、長期的な支援につなげる。 ・勉強会の開催(日中) それぞれの悩みや子供との関わり方、支える家族のサポート等の勉強会を開催する。 ・連携、情報交換の仕組みづくり 子どもの進路・就職について情報交換や専門機関との連携支援、将来の多様な場面を想定し、長期に渡って相談や情報交換のできる仕組みを構築する。 ・活動周知 飛騨市地域生活安心支援センターから出している広報誌に掲載してもらったり、回覧やチラシを作成し市内小中学校へ配布したり、教育委員会の不登校児支援室「グリーンルーム」等へ配架してもらったりするなどして、活動や居場所に関する情報提供や周知をする。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動開始当初に支援を始めた子ども達は、それぞれの道を歩みながら少しずつ外に出て他者とも関わられるようになり、親も子どもも笑顔で生活できるようになった。 ・市教育委員会の適応指導教室担当者と利用児童生徒に関する情報共有を行うなど、行政や専門機関、学校と連携した支援や相談が行えるようになり、多様な背景のある相談にもそれぞれの必要な連携先と協力して対応が行えるようになってきている。 ・活動当初に支援を始めた子どもたちはそれぞれの進路へ進み、他者と関わる活動が行えるようになった。これまでの経験を通して築けた親子関係により、困りごとを抱えた時などは早期に相談でき、自分自身でも学校や職場に相談して解決しようとする力ができたと感じられる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に認知度が増し、最近は児童期の相談が増えてきた。併設している子どもの居場所の利用が難しい引きこもり状態にある子どもについても、対面だけでなく保護者とのショートメールやLINEでのやり取りがいつでもできることで、継続した相談や支援のできる関係づくりにつながっている。 ・登録以降毎年、市生涯学習課と連携し、講演会等を開催。毎回、不登校支援を軸とした様々なテーマで行い、多数の地域住民に参加いただいている。 ・ICT を活用し、学校だよりをデジタル配信している市内小学校へ講演会の開催周知や事後報告を掲載。申込フォームのリンクや開催の様子を動画で掲載するなどし、アクセスのハードルを下げた情報提供を行った。 ・市社会福祉協議会からの依頼で、市内小・中・高・特別支援学校の校長や福祉担当職員の集まる会議にて講話を行った。 ・岐阜県家庭教育支援員養成・スキルアップ研修会にて実践発表を市担当者と共に行った。発表後の交流会で県内他支援チームとの交流から、後日実際に活動見学などの交流に発展した。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (飛騨市やさしいまちづくり応援事業、令和7年度ソロプチミスト日本財団活動資金援助)</p>